校長室だより
うんとこしょ どっこいしょ
THE HEADMASTER'S REPORT
第６８号　令和８年１１月１１日
渋谷区立 代々木 中学校長 駒崎 彰一

授業における生徒用生成AIの利活用について

渋谷区では、生徒が生成ＡＩ（質問や指示に応じて、文章などを自動で作成する仕組み）の特性やリスクを正しく理解し、自ら考え、適切に判断しながら有効活用する力を育むため、授業を中心に生徒用生成AIを段階的に活用していきます。

生成ＡＩにすべてを任せるのではなく、生徒自身の考えを整理したり、新たな視点を得たり、表現を豊かにするための支援ツールとして使用を目指していきます。

対象は**第２・３学年**の生徒とし、令和８年１１月１２日以降、準備ができ次第、本格的に利用を開始します。授業で２・３年生の生徒に使い方をレクチャーします。

なお、利用に当たり、保護者の皆様の費用負担はありません。

☆ 利用する生成ＡＩ

原則として、区が管理する「生徒用 Copilot※（探究・学習）」を使用します。

この生成ＡＩは、完成した答えを直接示すのではなく、問い返しやヒント、別の視点を提示し、生徒が自分で考え、確かめることを促すよう教育用途に応じた設定を行っています。また、学習の目的や場面に応じて、自由に質問を入力できる通常の Copilot チャットも利用できます。

いずれも、有害な内容や不適切な内容を表示しにくくする仕組みを備えていますが、万一、不適切な回答が表示された場合は、すぐに教員に報告するよう指導します。

授業では、教員が両者の特性を踏まえて使用するサービスを選択し、区のアカウントを使用して、教員の指導の下で利用します。なお、渋谷区の端末では、区の環境以外の生成ＡＩサービスや個人アカウントは使用できません。

※Copilot（コパイロット）は、Microsoft 社が提供する生成ＡＩサービスです。

☆ 考えられる主な活用場面（各教科等での活用を想定）

文章の推敲や文章表現を検討する場面
英語表現、プログラミング等で支援を得る場面
グループで議論・対話に情報を加え、活性化する場面
多くの意見や考えを整理する場面
探究学習で問い、調べ方や考えを整理する場面
生成ＡＩの誤りや偏りを確かめ、情報を適切に評価する力を学ぶ場面

☆ 効果的に（安全に）利用するための指導内容（各ご家庭でも話題にしていただけると・・・）

- ☺ 生成ＡＩによる情報について確認・評価する指導をしていきます。（情報を確認・評価する習慣を身につけさせ、事実と異なる情報や偏りのある内容を見極める力を育成します。）
- ☺ 個人情報を適切に管理する指導をしていきます。（本人や他者の氏名、住所、生年月日、写真、成績などの扱い）
- ☺ 著作権・肖像権についての指導をしていきます。（生成ＡＩを活用した著作物の扱い）
- ☺ これまで通り「対話」や「議論」を重視した指導をしていきます。（多様な他者との対話、議論を重視します。）

☆　データの取扱いと利用履歴

渋谷区 GIGA 端末の環境で生成ＡＩに入力した内容は、生成ＡＩの学習には使用しません。また、安全な運用や問題発生時の対応のため、教育委員会事務局が必要に応じて、生徒が入力した内容、生成ＡＩの回答等の利用履歴を確認する場合があります。利用履歴の確認は、上記の目的に必要な範囲に限って行い、それ以外の目的には使用しません。利用履歴の保存期間は 180 日間とし、期間が過ぎた後に削除します。

☆　家庭での利用

生徒用生成ＡＩは、家庭学習でも利用できます。家庭で利用する場合も、生徒用端末の持ち帰りや利用時間に関するルールに従い教育委員会事務局が設定した生徒用端末の利用時間（中学生は、平日、土日祝日及び長期休業中のいずれも午前 6 時 30 分から午後 10 時まで）の範囲内です。

御家庭でも、利用時間や利用内容を必要に応じて御確認いただき、生成 AI の活用についても対話をお願いします！

☆　利用を希望しない場合

利用を希望しない場合は、学校まで連絡をお願いします。

辞退したことにより、学習上の不利益が生じることはありません。授業では、生成 AI を使用しない学習方法でも不利益はない指導を展開します。なお、利用開始後も、お申し出いただくことで、いつでも利用を停止できます。

御不明な点がある場合は、学校まで連絡をお願いします。

本取組は、保護者の方から利用を希望しない旨のお申し出がない場合、御理解いただいたものとして利用を開始していきます。

人間中心の生成 AI の利活用を目指して

現在の人工知能（ＡＩ）は、単に生成ＡＩとして活用する段階から、ＡＩ自体が判断して外部ツールや複数システムを操作する「エージェントＡＩ」や「フィジカルＡＩ」の普及期に入っています。このＡＩによる個人情報の流失等のＮｅｗｓが後を絶たない状況ですが・・・。

ＡＩ利用の基本原則「ＡＩの利用は、憲法及び国際的な規範の保障する基本的人権を侵すものであってはならない。ＡＩは、人々の能力を拡張し、多様な人々の多様な幸せの追求を可能とするために開発され、社会に展開され、活用されるべきである。」という「人間中心の原則」がある。（平成 31 年 3 月、内閣府統合イノベーション戦略推進会議）

代々木中学校では、これまで通り「対話を重視する」学びを展開していきます。その中で「人々の能力を拡張し、多様な人々の多様な幸せの追求を可能とするため」の人間中心の生成ＡＩの活用を進めていきたいと考えています！